

議会だより

No.213




2019.8.1

発行 茨城町議会
編集 議会広報委員会

茨城町ホームページ <http://www.town.ibaraki.lg.jp/>



学校紹介シリーズ
茨城町立大戸幼稚園
泥んこになっても笑顔いっぱい!
プランター・田んぼづくり体験



6 月定例会開催

主な
内容

6月定例会のあらまし……………	2
一般質問……………	4
議会活動報告……………	7
お知らせ……………	8



令和元年
第2回定例会
6/6~6/14

プレミアム付商品券発行や 福祉バス購入に係る補正予算など 13 議案を承認・可決・同意

令和元年第2回定例会は、6月6日から14日までの9日間の会期で開かれました。
開会初日には、町長より、令和元年度町政執行方針の説明があり、続いて、令和元年度一般会計補正予算や条例の制定など、11議案について提案理由の説明がありました。
10日には、一般質問が行われ、3人の議員が執行部の考えを質し、その後、議案11件、陳情3件をそれぞれ所管の

常任委員会に付託しました。
14日の最終日には、各常任委員会委員長より、付託された案件の審査結果の報告があり、討論・採決の結果、全議案を原案のとおり承認・可決しました。また、陳情3件と継続審査中の陳情2件を継続審査としました。その後、町長より追加提出された人事案件2件に同意し、全日程を終了しました。

承認された議案

専決処分(※)の承認を求めるとについて(茨城町税条例等の一部を改正する条例について)

・住宅ローン控除について期間を10年から13年に延長、ふるさと納税制度の返礼品について返礼割合を3割以下で地場産品に限定するなどの改正。

【全員賛成】

専決処分の承認を求めるとについて(茨城町国民健康保険条例の一部を改正する条例について)

・高所得者における基礎課税限度額を引き上げ、低所得者における課税の軽減措置を拡大する改正。

【賛成多数】

専決処分の承認を求めるとについて(茨城町介護保険条例の一部を改正する条例について)

・低所得者における保険料の軽減措置を拡大する改正。

【全員賛成】

専決処分の承認を求めるとについて(損害賠償の額を定めることについて)

・宮ヶ崎地内の町道4417号線において発生した、トラック横転事故による車両の損壊被害について、損害賠償額を169万3370円に決定。

【全員賛成】

※専決処分とは…
議会の権限である事項について、特に緊急を要する場合などに、町長が議会の議決・決定前に処理することを言います。

可決された議案

茨城町特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について

・選挙長、選挙立会人などの選挙に係る特別職非常勤職員の報酬額を引き上げる改正。

【全員賛成】

茨城町税条例の一部を改正する条例について

・児童扶養手当の受給者のうち、前年の合計所得金額が135万円以下であるひとり親の個人住民税を非課税とするなどの改正。

【全員賛成】



茨城町森林環境譲与税基金条例の制定について

・森林環境譲与税を基金として積み立て、適正な管理・運用を可能にするため、所要の規定を整備。

【賛成多数】

茨城町文化的施設整備建設検討委員会設置条例の制定について

・文化的施設に関し、基本方針及び建設に関する事項の調査・検討を行う委員会を設置するため、所要の規定を整備。

【全員賛成】

茨城町火災予防条例の一部を改正する条例について

・民泊住戸部分が300㎡未満である民泊施設を対象に、特定小規模施設用自動火災報知設備の設置を条件として、住宅用防災警報器の設置を免除とするなどの改正。

【全員賛成】

町道路線の廃止について

・下石崎地内における道路敷地払い下げに伴い、町道1397号線の一部を廃止。

【全員賛成】

請願・陳情の審査結果

継続審査となったもの

消費税増税10%引き上げ中止を求める意見書提出の陳情書

水戸市見川5-1127-281

茨城県商工団体連合会

会長 松澤 博

辺野古新基地建設の即時中止と、普天間基地の沖縄県外・国外移転について、国民的議論により、民主主義及び憲法に基づき公正に解決するべきとする意見書の採択を求める陳情

沖縄県那覇市銘苅一丁目3番36号ハピネス新都心II302号

「新しい提案」実行委員会

安里 長従 外6名

東京都新宿区四谷二丁目8番地
全国青年司法書士協議会
会長 半田 久之

全国知事会の「米軍基地負担に關する提言」の主旨に基づいて、地方自治の根幹を脅かす日米地位協定の見直しを国に求める意見書を提出する事を求める陳情書

大阪府豊能郡能勢町稲地128-3

日米地位協定を見直す会

共同代表 難波 希美子

奥山等のスギ・ヒノキ放置人工林を、森林環境譲与税(仮称)で順次計画的に皆伐を進め、天然林に戻すことを求める陳情書

兵庫県西宮市分銅町1-4

一般財団法人 日本熊森協会

会長 室谷 悠子

人事

茨城町監査委員の選任につき同意を求めることについて

細谷 丈 夫 (下土師)

【全員賛成】

茨城町教育委員会の委員の任命につき同意を求めることについて

寺内 拓 男 (生井沢)

【全員賛成】

可決された令和元年度補正予算

会計名	補正前の額	補正額	補正後の額
一般会計	127億6200万円	9031万円	128億5231万円

一般会計補正予算の主な内容

- プレミアム付商品券発行事業費 4958万円
消費税増税対策として、住民税非課税世帯や子育て世帯を対象にプレミアム付商品券を発行する事業経費
- 町福祉バス購入事業費 2250万円
町民の福祉と健康増進を目的とし、購入から22年が経過した町福祉バスを更新する事業経費
- 緊急風しん抗体検査等事業費 707万円
感染拡大防止を目的とし、抗体保有率の低い世代の男性に対する抗体検査、予防接種等を実施する事業経費

一般質問



海老澤 忠 議員

問 自転車保険加入の義務化や促進を求める条例の制定を

答 加入促進に取り組むとともに条例の制定について今後検討していく

問 近年、自転車による事故が増え、その賠償額の高額化に対し、自転車保険加入の義務化や促進を求める条例を制定する自治体が増えている。町においてもこのような条例を制定すべきではないか。

答 町では、ホームページや広報紙への掲載、啓発チラシの配布など、自転車保険の加入促進に取り組みながら交通事故の未然防止にも努めていく。条例の制定については、万が一事故を起こした際の備えとして自転車保険への加入の必要性が高まってきていることから、今後検討していく。

問 町民の意見や要望を町政に活かすためご意見箱を有効に活用すべき

答 ご意見やご提案等を定期的集約し対応していく内容や回答は広報紙等でお知らせしていく

問 町民の考えていることや意見を的確に掌握して、対処できることは早急に手を打ったり、また参考になることは参考にして幅広い様な意見を吸い上げていくことは大事なことである。役場庁舎、ゆうゆう館、駒場庁舎に設置されるご意見箱の活用方法について伺う。



ご意見箱の有効な活用を

答 町第6次総合計画では、町民の意見を町政に反映させる機会の拡充を図るなど広聴活動の充実を掲げている。その拡充策の一つとして、ご意見箱を設置した。今後は投函されたご意見などを定期的に集約し、内容を精査したうえで関係課や関係機関等と調整しながら

ら対応していく。また、ご意見等の内容や回答は、町民と行政との情報の共有化を図るため、広報紙やホームページ等でお知らせしていく。

その他の質問

問 道路や奥谷公園など役場周辺の整備を

答 来訪者の視点に立った交通環境の向上と清潔感ある環境づくりに努める。奥谷公園は地域の交流の場となるよう努め、案内標識の設置も検討していく。

問 住宅リフォーム助成制度について100万未満の工事など助成対象の拡大を

答 利用者や施工業者から高い評価をいただいている現在の助成制度を当面、継続していきたい

問 高齢者のごみ出し支援に取り組むべきでは

答 特に取り組むべき支援とし関係機関などと連携しながら検討を進めていく



一般質問



川澄 敬子 議員

問 放課後児童クラブ支援員の複数配置と待遇改善を不登校児童生徒への支援事業の充実を

答 支援員の配置や資格は現体制を維持し待遇は検討不登校児童生徒へは心に寄り添う支援に努めていく

問 放課後児童クラブ支援員の職員配置の今後の見通しを伺う。また支援員の待遇改善を図るべき。

答 厚生労働省の放課後児童クラブ運営指針について、今国会で法案が通過し、支援員の配置や資格は「従うべ



重要な役割を果たす放課後児童クラブ支援員

き基準」から「参酌すべき基準」となった。町としては、児童の安全確保と健全育成のために、今後も現体制を維持していく。支援員の時給の引き上げについては、近隣市町村の状況や町の財政状況を勘案し検討していく。

問 不登校児童生徒の現状を把握し、訪問型サポートなどの支援事業を充実すべき。

答 町の不登校児童生徒数は、平成30年度は小学生11人、中学生20人。「中1ギャップ」などの解消のため、小中連携を強化。その他学びあいの授業の推進や一人ひとりに応じた指導、家庭訪問などの対応を行っている。不登校支援の機関「とんぼのひろば」は、安心して心を休ませ、居場所となるよう対応していく。訪問型サポートも導入の準備を進めている。

問 手話言語条例の制定を補聴器購入の補助制度を検討すべき

答 条例制定を検討していく。取組みも推進していく。補助制度は今後の検討課題としていく。

問 手話言語条例を制定し、町の行事などで手話通訳者の配置をすべき。

答 障害者基本法では、手話を含む言語の選

択と利用の機会の拡大が決定。町では手話奉仕員養成講座を開き、終了後奉仕員として登録している。今後奉仕員に協力いただき、聴覚障がい者の日常生活や社会生活の自立を推進していく。条例の制定は、調査研究し検討していく。

問 認知症の予防にもなる高齢者の補聴器購入に補助をすべき。

答 現在、補聴器購入の助成は身体障がい者手帳保持が条件。軽度中等度の高齢者は対象とならない。補聴器購入補助は、認知症予防の一つの手段と考えられ、今後の検討課題としていく。

その他の質問

問 太陽光発電施設の設置・管理に関し、条例を制定し規制を強化すべき

答 国・県の動向や他市町村の状況を注視しながら、必要性について研究していく。

問 日本原電の東海第二原発再稼働表明に関し、さらなる追求と町民への周知を

答 安全確保に関する協定書を締結しこれに基づき説明を受けている。



一般質問



鳥羽田 力 議員

問 人口減少対策に最も重要な婚活支援事業を積極的に推進すべき

答 施策の効果検証を行い新たな施策や支援体制の強化を検討していく

問 人口減少対策は、婚活支援事業のような内側から人が増えていくための政策が重要である。婚活支援事業の現状と成果について伺う。

答 町では、町商工会、町内金融機関、町職員で構成する「キューピット実行委員会」に

おいて、これまで17回の婚活イベントを開催し、延べ721人が参加、99組のカップルが成立、



成果が期待される婚活イベント

うち7組がご成婚されている。今後も引き続き、県や関係団体と連携しながら婚活支援事業を推進していく。

問 婚活支援事業でご成婚された夫婦が、町外に住むという結果もある。先進事例の富山県南砺市では、結婚後の定住に向けたきめ細かい支援も行い成果をあげている。今後は専従職員の配置を含め、人口減少対策にも効果のある充実した婚活支援事業に取り組むべきでは。

答 人口減少対策は幾つもの施策が組み合わせられ相乗効果が生まれる。今後、「茨城町まち・ひと・しごと創生総合戦略」の策定にあたり、婚活事業を含め、実施した施策の効果検証を行い、新たな施策や支援体制の強化を検討していく。

問 自転車を活用した新たな観光開発、サイクルツーリズム推進に向けた積極的な取り組みを

答 今年度、サイクルサポートステーション事業に取り組み、自転車活用推進計画の検討も進めていく

問 近年、全国各地で機運が高まるサイクルツーリズム。新たな観光資源を活用で

き、自転車を生かしたまちづくりに取り組む地域が増えている。観光客の誘客につながるためにも、町において積極的に取り組むべきでは。

答 町では今年度、新たにサイクルツーリズム推進のための取り組みとして「サイクルサポートステーション事業」に取り組む。専用の駐輪スタンドを設置するとともに、トイレ・休憩・給水施設などを備える。今後は、町内各所に多くのステーション施設が設置できるように取り組み、近隣市町村との広域連携も視野に入れ、町独自の総合的な施策について取りまとめた自転車活用推進計画の策定に向け、協議、検討を進めていく。

その他の質問

問 災害時協力井戸について設置場所の周知と適切な維持管理を行い、災害への万全の準備を

答 設置場所は町ホームページでの公表に加え、各地区の公民館などに名簿や位置マップを掲示していく維持管理は登録者の意向や井戸の状況など確認作業を進めていく

常任委員会 視察研修報告

総務・経済建設常任委員会

【研修期日】

令和元年5月14日～5月17日

【研修先】

ロシア連邦ウラジオストク日本センター、ウラジオストク市郊外「ダーチャ」

【研修内容】

ロシアとの経済交流について、伝統生活文化「ダーチャ」について

【研修参加者】

田家 勇作・山西 正樹
鳥羽田 力・石川 祐一
鳥羽田 創造・久保田 良一
高安 能久・澤 秀雄

表敬訪問を実施した「ウラジオストク日本センター（日本国外務省所管）」は、日露経済交流の促進を目的に、訪日研修やビジネス・マッチング支援などに取り組んでおります。

研修では、ロシア沿海地方の概況や経済交流、友好提携などについて説明を受けるとともに、経済分野などの協力関係の構築に向け

た、多方面からの意見交換会を実施しました。

また、現地視察を実施した「ダーチャ」は、郊外にある菜園付き別荘のことで、ロシア国民の3人に1人が所有し週末などに利用する伝統生活文化であります。

視察では、現地の方との交流を深めながら、生活文化として根付く理由や活用の実態などを研修することができました。

今後は、多くの分野で海外との交流が必要となることから、友好関係の構築を模索しながら、国際交流施策について具体的に検討していくとともに、「ダーチャ」のような活用方法などを参考とし、田舎暮らしの需要にあわせた、空家対策や遊休農地の活用についての施策を提言してまいります。

教育民生常任委員会

【研修期日】

令和元年5月20日～5月22日

【研修先】

北海道千歳市、上磯郡木古内町

【研修内容】

ちとせ版ネウボラについて、文化財等の保存及び活用について

【研修参加者】

大山 宏治・小貫 昭夫
川澄 敬子・入野 富男
亀山 勝男・海老澤 忠
市村 照彦・福田 茂

千歳市は、「子育てするなら、千歳市」をキャッチフレーズに、妊娠・出産から子育てまでの切れ目のない、先進的な支援を提供しております。「ちとせ版ネウボラ」は、すべての妊婦、母子、子育て家庭に対して、直接のアドバイスや援助の機会を確保し、子どもたち一人ひとりの幸福を実現することを理念としています。

研修では、理念の実現に向けた各種事業の詳細や支援・相談体制などの説明を受けるなか、事業の成果や課題などについて、意見交換を実施しました。

当町では、本年度より、子育て



国際交流の促進に向け意見交換を行う委員



子育て支援施策の先進的事例を研修する委員

世代包括支援センター「にこきら」が開設され、妊娠・出産から子育てまでの総合的な支援の提供が期待されております。今後は、千歳市の取り組みを参考とし、子育て支援の更なる充実に向け、効果的な施策を提言してまいります。

また、木古内町では、郷土の貴重な文化財の保存や活用に努め、閉校した校舎を活用した、郷土資料館「いかりん館」について、施設の視察を行うとともに、運営状況や今後の課題について、意見交換を行いました。今後は、研修した内容を参考に、町における地域文化の継承や文化芸術活動の活性化を促進するための施策を提言してまいります。

令和元年第3回定例会 会期日程（予定）

期	月/日	曜	時刻	種 別	審 議 等 の 内 容
1	9/5	木	10時	全員協議会	議案一括上程、提案理由説明
				本 会 議	
2	9/6	金		休 会	議事調査
3	9/7	土		休 会	議事調査
4	9/8	日		休 会	議事調査
5	9/9	月	10時	本 会 議	一般質問 議案等の質疑、委員会付託
				委 員 会	付託案件の審査（常任委員会）
6	9/10	火	10時	委 員 会	付託案件の審査（常任委員会）
7	9/11	水	10時	委 員 会	付託案件の審査（常任委員会）
8	9/12	木	10時	委 員 会	付託案件の審査（常任委員会）
9	9/13	金	10時	議会運営委員会	付託案件の報告、質疑、討論、採決
				全員協議会	
				本 会 議	

市村照彦氏が町議会議員 補欠選挙で当選

去る4月21日に執行された町議会議員補欠選挙において市村照彦氏が当選されました。

市村照彦議員は、教育民生常任委員会委員及び予算・決算常任委員会委員に選任されました。

「CFP」とは…センター・ファイア・ピストルの略で、選手が競技で使用する拳銃の種類のことです。拳銃は片手で持ち、立った姿勢で25m先の標的を撃ち、競われます。

いきいき茨城ゆめ国体2019
茨城県で45年ぶりに開催！ **応援してね!**

茨城町開催競技 ライフル射撃(CFP)

競技会場
茨城県警察学校射撃場

開催期間
2019年10月4・5・6日 いばラッキー

第74回国民体育大会茨城町実行委員会

議員出席状況

6月定例会（委員会を除く）

6月6日 全員出席
10日 全員出席
14日 全員出席

傍聴者数

6月定例会 46名

傍聴ありがとうございました。

広報委員会

委員長 鳥羽田 創造
副委員長 川澄 敬子
委員 鳥羽田 力
” ” ” 石川 祐一
” ” ” 入野 富男
” ” ” 大山 宏治

読みやすく、わかりやすい議会だよりをめざしていきます。町民の皆様のご意見をお寄せください。

